傳神開手

北齋漫畫十三編 全

拾四冊

尾張東壁堂藏板畫譜畫手本目録

北齋漫畫　狂畫苑　北齋畫譜
北溪漫畫　文鳳麁畫　同　中編
北雲漫畫　蕙齋麁畫　同　下編
琥琳漫畫　神事行燈　富嶽百景
金氏畫譜　北齋女今川　同　二編
一筆畫譜　初學繪手本　同　三編
英勇畫譜　福善齋畫譜　繪本庭訓
浮世畫譜　武勇魁圖繪　同　中編
粟泉畫譜　浮世畫手本　同　下編

北齋漫畫十三編刻成矣
嗚呼富哉戴斗翁の筆
十竹齋芥子園の理窟を
脱して人情世態乃洒落一
編ことに其妙を盡く愈
出て愈奇なり日裏[illegible]写

山人六樹園式亭の諸先
ミな序あり余また何をか
言む嗚呼富哉戴斗が翁
の筆

己酉秋窓雨夜秉燭書
山禽外史小笠

葛飾爲一老人筆

北齋漫畫十三編

書舗 東壁堂梓

倶利伽羅不動（くりからふどう）

右ノ劔龍ハ即チ
左リ之索セク

三面大黒天（さんめんだいこくてん）

和氣清麿（わけのきよまろ）

北斎漫画十三編

猿樂七部

薩摩守

業平餅

塗附

廟祝

山伏

北斎漫画十三編

甲州牛石

同 猪鼻

鈍子帆掛岩

相州烏帽子岩

相州森戸

和州三笠山

相州六浦

利根

筑波遠景

木曽贄川

利根遠帆

甲州鳥澤

略筆の編

其二

猶略

北斎漫画十三編

飛泉八躰之図

蜘手ニ落ル

裏面

薄キ

斜流

銃眼締（てつぽうしめ）

魚籃観世音（ぎよらんくわんぜおん）

北斎漫画十三編

象（ぞう）

虎（とら）

北斎漫画十三編
奔虎（はしるとら）

甲州

大畑山

桟木橋

駱駝

椰子

急流の深
極て浅きハ
次の編に重

甲州にて瓢を製す

岩茸取（いはたけとり）

猿（さる）

明王出現

えんまんぢ
まんまんが淵

砂糖釜

砂糖製（さとうをせいす）

須(しゆ)

晝(ひる)

弥(み)

夜(よる)

猨山 書通案文

全部一冊

世に手紙案文とて書数部あれども其文言何れも迂遠く
ある者は捷径にして文意行届かず貴賤のわかちわかれず文言をか
ざりとて徒に以ての外の長文を以てす類多く次第をもうしなへり
浩軒先生の手を以て世にある所の手紙文を前篇文字の足らざるを補ひ
要用急務を専として通俗の便利を勝れる書はなし故に書に
文躰を加へ行程を記して遍く遠方にも達し面談をなすがごとし
故に書翰文を以て日用の重宝となさしむるのみ

尾陽書肆
東壁堂欽白